

新病院整備基本計画 [概要版]

大阪府保健医療計画

平成20年3月 策定

- 4 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）4 事業（救急医療、災害時医療、周産期医療、小児救急医療）の医療体制の整備

市立堺病院将来ビジョン（基本構想）

平成21年9月 策定

- 策定の主旨
 - ・市立堺病院が担うべき役割を明確にし、医療環境や経営状況に応じ柔軟で、弾力的な病院経営を行い、これまで以上に良質な医療を安定的・継続的に提供。
- 救急医療
 - ・三次救急と二次救急が一体となったシステムを構築。
 - ・堺市消防局と連携して、救急ワークステーション等の施設・設備を併設。
 - ・二次救急を担う病院間の連携と協力による救急医療のネットワークを構築。
 - ・堺市医師会との協力・連携のもと、小児急病診療センターを整備。
- 真に必要な地域医療の確保
 - ・基礎的自治体である市として、市民にとって安心できる地域医療サービスの提供。
 - ・公・民の適切な役割分担のもと、地域で必要となる高度・専門医療の提供。
- 病床数
 - ・一般 400～430床
 - ・一般 370～400床
 - ・救命救急センター 30床
 - ・感染症 必要数の検討
- 診療科
 - ・既存の診療科 19科
 - ・救命救急センターの併設に伴い、必要となる診療科を加える。
- 施設機能
 - ・新病院
 - ・救命救急センター
 - ・救急ワークステーション
 - ・ヘリポート
 - ・小児急病診療センターの併設
- 敷地
 - ・約24,000㎡
- 延床面積
 - ・約40,000㎡
 - ・約45,000㎡
- 建設予定地
 - ・堺市西区津久野町1丁・家原寺町1丁
- スケジュール
 - ・整備基本計画にて明らかにする。
- 事業費
 - ・早急に検討する。
- 名称
 - ・（仮称）堺市総合医療センター・堺市救命救急センター

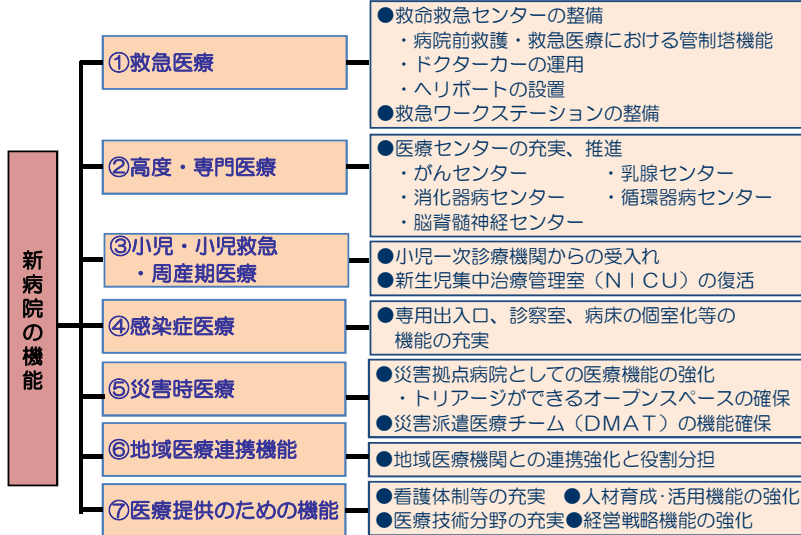
大阪府地域医療再生計画（堺市医療圏）

平成22年1月 策定

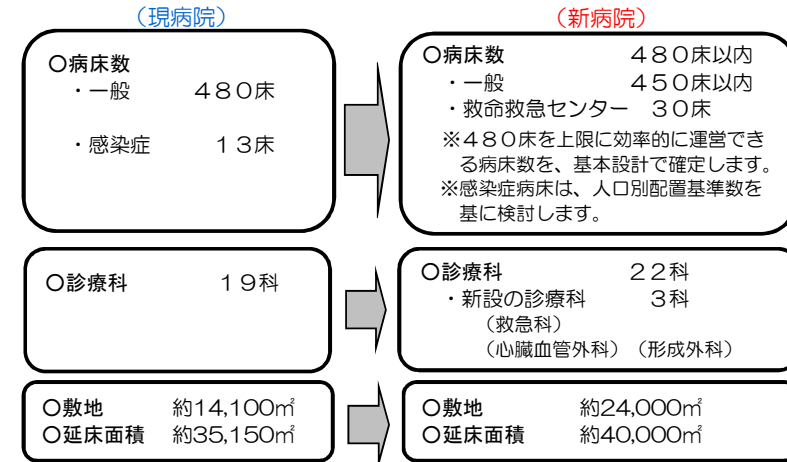
- 救命救急センターの整備
- 救急管制塔機能の整備
- 二次救急医療連携強化
- 小児・小児救急医療体制の強化
- 周産期医療体制の強化
 - ・市立堺病院において6床のNICUを稼働

新病院・救命救急センターを整備します。

1 新病院・救命救急センターの機能



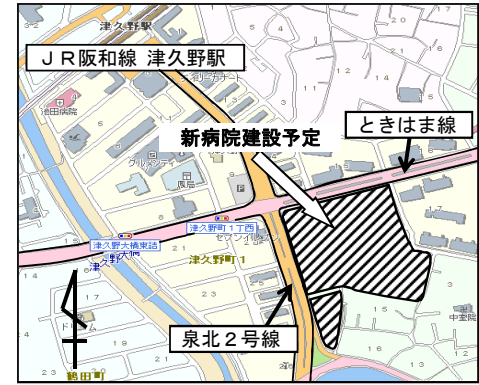
2 新病院・救命救急センターの規模



3 施設整備の考え方

- 患者さん・家族本位の病院
 - ・ユニバーサルデザイン等を導入
 - ・療養環境の向上
- 機能性に優れ、変化に対応できる病院、災害に対応できる病院
 - ・部門連携の強化
 - ・建替えや増築が可能
 - ・大規模災害時の診療機能維持
- 環境保全と経済性が調和した病院
 - ・環境に配慮した設計
 - ・建設費、維持管理コストの低減
- 職員に魅力ある病院、地域医療に貢献する病院

4 建設予定地



住所：堺市西区津久野町1丁・家原寺町1丁
 ※現在は4区画となっていますが、道路の付け替え等を行い、病院本体の一体的な整備を行います。
 ※建物配置等は、基本設計において確定します。

5 事業スケジュール

	平成	22	23	24	25	26
道路基本・実施設計		→				
道路工事			→			
新病院基本・実施設計			→			
新病院建設工事				→		

6 事業費概算

項目	概要	金額(千円)
建設工事費	本体・外構・駐車場 (設計費等含む)	11,000,000
医療機器等	医療機器・備品等	5,500,000
計		16,500,000
用地取得費等	用地(約24,000㎡)	3,500,000
合計		20,000,000

※急病診療センター・職員宿舎・造成・周辺の基盤整備等の費用は含まれません。
 詳細な事業費については、実施設計において算出します。

7 急病診療センターの併設

- (財)堺市救急医療事業団が医師会・薬剤師会等の協力を得て運営
- 小児科を主体とした初期診療の実施
- 延床面積 約2,000㎡